

用語	定義	画像
四肢切断	身体の一部、例えば脚や腕が失われること。	
関節炎	健康問題の一つで、関節が硬くなり、腫れ、および/または動かすと痛みを伴うこと。	
脳性麻痺	動作、筋緊張、バランス、姿勢に影響を及ぼす一群の疾患。脳性麻痺は出生前、出生時、出生直後に受けた脳の損傷の結果である。	
糖尿病	血液中の糖分が高くなる病気。これは多くの健康問題につながる。例えば身体の一部（特に足）での感覚の困難とその帰結である足部創傷、視力が徐々に失われる、腎臓障害、尿失禁、記憶が困難になるなど。	
糖尿病性足部創傷	足の皮膚が破れること。足部創傷は、糖尿病など、足の感覚を低下させる健康条件（疾患）の合併症である。治療しなければ、糖尿病性足部創傷は下肢切断につながりうる。糖尿病性足部創傷は足潰瘍とも呼ばれる。	
手すり	つかむことでバランスを保ったり移動したりすることを支援する、固定された棒。	
壮健 [fitness]	身体的に力強く健康であること。	
フレイル/虚弱さ	弱く、もろく、活力に乏しいこと。加齢に従って健康が低下するにつれて起こる場合が多い。	
装具	身体の一部を支えるブレースやスプリントのこと。痛みを抑制し、移動を支え、または不要な動きを止めるために役立つ。	
麻痺	身体の一部（通常上下肢）を動かす能力が失われること。	
ポリオ	重い感染症で、その結果筋肉が衰弱または麻痺する。感染の回復後も、運動機能が障害される。	
褥瘡	褥瘡とは、皮膚の損傷である。通常は骨ばった部位で起こり、感覚の問題があるか、移動や体位変換が困難な人に広くみられる問題である。	

義肢	身体の欠損部分を代替する人工の四肢（例：脚）	
歩行車 [rollator]	4輪を備えた歩行器 [walker]。	
セルフケア	セルフケアとは自分自身をケアすることである。TAPでは個人の基本的ニーズ、例えば洗濯する、トイレに行く、着替える、食べる、飲むなどをケアするために本人が日々遂行するセルフケア活動を重視している。	
感覚 [sensation]	接触、圧力、痛みを感じる能力のこと。	
脊髄損傷	脊髄が損傷することで、通常は事故や病気によって起こる。脊髄損傷後は、身体と脳の間の脊髄に沿った伝達ができなくなる。損傷より下位が動かせなくなり（麻痺し）、感覚が失われる場合が多い。	
脳卒中	脳の血流が阻害されること。その結果、身体の一部が弱くなるか麻痺するほか、言語、感覚、思考、視覚に問題が生じうる。	
断端	四肢切断後に、健全な関節より先に残された腕や脚の部分のこと。残存肢（残された四肢）、またはより一般的には断端と呼ばれる。	
治療靴	治療靴とは、歩けるが足を圧力や摩擦から保護する必要がある人のための、靴および中敷のことである。	
移乗	自分の身体をある場所から別の場所へと動かすこと。	
体重負荷	（左右あるいは一本の）脚が支えうる体重。	